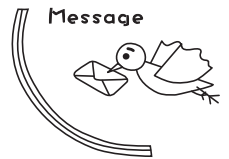


## みんなのひろば



市民と編集担当者とのおしゃべりコーナー「みんなのひろば」です。より親しみやすい広報紙をめざして、みなさまからいただいたメッセージを紹介していきます。今回は、前号（55号）のクイズ応募ハガキからです。

わっています。伝統文化に触れる機会を通じて、子どもたち一人ひとりが地域の一員として様々な人との交流を重ねることで、自然や人を愛する豊かな心を育みながら、ふるさとの良さが受け継がれていくことと思います。

▼「うちの学校紹介」の中田小学校は、私が十数年前に卒業した母校です。学習発表会の演目に取り入れられていた「梯子獅子」の記事をとっても懐かしく思い出しました。舞台の上で演じた松づくしが、片足でバランスをとるのがむずかしかつたのをおぼえています。今の子どもたちも伝統文化に触れる機会があり、受け継がれていくことを願います。（20代）

▼セクシュアル・マイノリティがいるということ前提とした取り組み、これから増えていったらいいですね。当事者たちはすごく悩んでいると思うので、みんなに早く認められるようになったらいいなあと思います。（60代）

▼当事者たちが置かれた環境は千差万別で、本人が望むこともまたそれぞれに違いがあることと思います。当事者一人ひとりの希望を叶えることは一筋縄ではいかないかもしれませんが、常に相手を認める気持ちで接すれば、少しでも悩みを和らげることができ

▼「君がいるから」の記事中の「虐待」がとても気になりました。虐待のニュースを見ない日がないといえは大袈裟ですが、先日も女兒虐待死の報道がありました。胸が張り裂けるような悲惨な事件で、二度とこのようなことが起こらないように社会全体で再発防止に取り組む必要があると思います。（50代）

▼未来を担う子どもたちが虐待で苦しめられていることが身近になってきていることに驚かずにいられません。親からの虐待に悩むビデオの主人公は、地域の人々との触れ合いを通して自分自身をとりもどし未来への希望を見いだしました。周囲の人たちから愛され、見守られているという子を子どもたちにもいつか感じてもらえる、そんな世の中になればと切に願います。

▼4月から社会人になりました。学生時代と違い大変なこともあると思いますが、相手の人権、また、自分の人権も大切にしながら、人間関係を大切に働きたいと思います。（10代）

▼就職おめでとうございます。人間関係は職場の悩みの筆頭ですが、相手の人権も自分の人権も大切にすると、これが良い人間関係を築く一番の良策です。若者の活躍を心から願っています。

**《メッセージをお寄せください》**

クイズ応募ハガキ、FAXやメールでお知らせください。

TEL 0799-64-2567

FAX 0799-64-2528

Eメール: awaji\_jinken@city.awaji.lg.jp

淡路市社会福祉協議会

シリーズ⑩

「ひきこもり」を考える

40歳～64歳の「ひきこもり」状態にある人の全国推計が、61・3万人と内閣府が3月末に発表しました。これまでの調査によると15歳～39歳までの「ひきこもり」状態にある人の全国推計が54・1万人で、若年層の「ひきこもり」の人数よりも13%多いことや、合計が115・4万人となり、人口に占める割合が0・91%と約100人に1人が何らかの「ひきこもり」状態であるということに日本中が大きな衝撃を受けました。

これまでの「ひきこもり」の定義は、15歳～39歳で6か月以上、仕事や学校に行けず家にこもり、家族以外との交流がほとんどない状態とされていました。近年、80代の親が50代の子どもの生活の面倒を見る「8050（ハチマルゴーマル）」などの課題が表面化したことが今回の調査につながっており、自治体ごとにも具体的な支援策が求められています。

（次号につづく）